

ごあいさつ

日ごろより東海ろうきんをご愛顧いただきまして、誠にありがとうございます。

2018年度の活動を広く皆様にお知らせする東海ろうきんディスクロージャー誌「ROKIN DISCLOSURE 2019／東海ろうきんの現況」をお届けいたします。1年間の東海ろうきんの取組とその結果をご高覧いただき、率直なご意見をお寄せいただきたいと思います。会員・お客様の声に耳を傾け、さらなる信頼関係づくりに活かしてまいります。

2018年度は第8期中期経営計画(2017年度～2019年度)の中間年度として「働く人たちの暮らしと財産を守る身近で頼られる福祉金融機関」をメインテーマに掲げ、事業に取組んでまいりました。

商品・サービス面では、引続き、「家計の見直し運動」の中核商品である、「借換住宅ローン」「借換カードローン」を推進したほか、2018年1月より取扱いを開始した、住宅ローンご利用と同時に他社借入の借換資金や家財・家電購入費用、引越費用等を、まとめてお借入れできる「住宅ローンとまとめトク!」が、住宅業者や利用者に次第に浸透したことが融資の大幅な増加要因の一つとなりました。また、勤労者の資産形成支援の取組として、預かり資産活用の提案に注力しました。

さらに、より多くの勤労者とそのご家族に<ろうきん>を身近で気軽にご利用いただけるよう、利用度の低いATMを大型ショッピングセンター等の利便性の高い場所への移設或いは新設を進めて参りました。

当期純利益につきましては、計画を上回る利益を上げることができました。これもひとえに当金庫をご利用いただいております皆様の多大なるご理解・ご支援の賜物だと、金庫を代表してあらためて感謝申し上げます。

国内景気は、海外経済の減速の影響を受けて、輸出は足もとで弱めの動きとなっています。一方、企業収益や業況感が総じて良好な水準を維持するも、設備投資は増加傾向が継続しています。個人消費については、雇用・所得環境の着実な改善を背景に、緩やかに増加しています。また、住宅投資や公共投資については、高めの水準を維持しながら、横ばい圏内で推移しています。金融環境は、消費者物価(除く生鮮食品)が前年比0%台後半程度で推移していることもあり、極めて緩和された状態にあります。しかし、保護主義の台頭により、米中の貿易戦争は長期化の様相を呈し、輸出・企業収益の下振れ等の影響はグローバルに広がりつつあります。また、2019年10月に予定される消費税の引上げにより、実質所得の低下、個人消費の低迷が懸念されるなど、景気の先行きには不安要因が増すことから、引続き、生活防衛・生活改善の意識を持つ必要があります。

2019年度は第8期中期経営計画の最終年度であります。第8期中期経営計画で掲げた課題の完遂と共に、会員・お客様の満足度向上、直接還元・健全経営の継続のために、新たな課題への対応方針や戦略の具体的な計画を策定し、福祉金融機関としての存在意義、役割を発揮していきます。

皆様には、今後ともより一層のご支援とご協力を賜りますよう心からお願い申し上げます。

2019年7月

身近で信頼される
福祉金融機関として、
働く人の夢ある明日を
創造します。

理事長 土肥 和則

